

明けましておめでとうございます。

森の再生活動の普及とフォレストイング指導を始めて

# 16回目の春です。



1999年から始めたこんなメッセージも、もう60回近くになります。あっという間の歳月でした。そのメッセージで何かが変わったかと考えてみると、実はほとんど何も変わってはいません。自然からの一方的な収奪によって成り立つ豊かさというパラダイムも、そのパラダイムに絶ってしか成り立つことのできない悲しい社会の力学も。

ただ、もしも16年前に、私たちのささやかな運動が生まれていなかったら、少なくともこの地域にたった4社しかなかった「理念あるCSR」への共感がトラストを生む程の力には成れなかった事でしょう。

そしてなによりも、私たちの最初のメッセージを読まれた時のあなたがもしも中学生の頃だったとしたら、今のあなたは、30歳を超えたはずですよ。そして、お子さんはきっと幼稚園に入園が間近で、家族という単位からヒト社会へ目を向け始める頃でしょう。そんなあなたのお子さんに、ぜひ、私たちのメッセージを語り継いで欲しいのです。『宇宙船地球号はヒト社会だけの乗り物ではない』と、世代を超えて伝わるものにこそ、価値があります。16年というのはその価値を知るのに十分な歳月でしょう。

また一年新しい年が始まります。この一年が、あなた自身の手で書き継がれるかけがえのない歴史の、価値ある煌めきでありますように。



## Power to the Forest

**放置林の現状** 日本の里山は第二次大戦後の急激な木材需要に対応するため、国家によって次々に伐採され杉や桧の産業林に変えられていきました。ところが、木質から化石への急激な熱エネルギー需要の変化や、人工建材の登場による木材需要の減少に加えて、木材輸入の解禁(1963)とともに良質な外国産の天然材に比べて市場競争力に乏しい国産材は、産業としての林業の弱体化を呼び込んで、林業従事者が急速に減少するという結果を生み出したのです。それに伴い全国各地で拡大造林由来の産業林の多くが、何の手も入れられない事なく放置されたままとなっているのです。(写真:放置林の林相 2011年浜松市との協働調査)

**放置林の再生** かつての里山は大気中の炭素の固定化、水の涵養、生物多様性の保全など、ヒト社会の持続可能性を支える重要な役割を果たしていました。地球の温暖化、生物の多様性の崩壊、水源の枯渇などを抱える現代のヒト社会にとって、放置林の再生は急務なのですが、残念ながらこれらは現代社会のパラダイムの中では産業的利益に結びつけられるようなテーマではありません。従ってその実現には、企業のCSRの取り組みが最も有効な手段であるというのが現状なのです。



### 蘇れ、日本の原風景

#### フォレストイング憲章

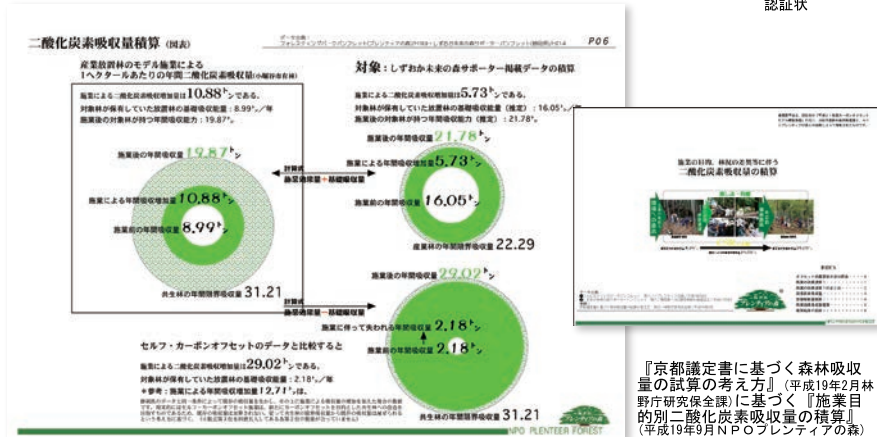
1. ひとの営みと自然とが共生する、豊かな森に再生しよう。
2. 豊かな生物多様性を抱える森本来の生態系を回復しよう。
3. 清らかな水や空気を生み出す森の公益的機能を高めよう。
4. エコ・カルチャーとしての森づくりの楽しみを広めよう。
5. 日本の原風景を蘇らせて、自然との共生の原点を学ぼう。

**再生への試み** 何よりもまず「カルチャーとして楽しめるもの」である事が重要であると私たちは考えています。さらにその成果に「社会的な総力をもちこつ」の二点が重要です。従って、森林の再生施策を「フォレストイング」という独自のカルチャーとして位置づけて体系化し、企業の福利厚生あるいはCIとしての価値を提案して社会貢献への意欲を喚起するとともに、活動結果の二酸化炭素の吸収量を積算して成果を数値化しています。



**セルフ・カーボンオフセット** 2008年から提唱して来た「事業活動によって排出された二酸化炭素を、炭素取引という金融的解決のみに頼らず自らの汗によって回収しよう」という呼びかけです。活動を主催した企業や団体には、その施業量、施業手法を検証し積算したセルフ・カーボンオフセット認証状を発行しています。

セルフ・カーボンオフセット認証状



**CSRトラストという挑戦** 事業的利益ではなく、社会的利益を生み出す事を目的とした協働組織の造語です。地域の企業のCSRに向けられる力がまとまり、理念とコンセプトを共有して、より大きな社会的利益を実現しようというもので、世界的にも例のない浜松生まれのCSR協働の構想です。

**里の会という試み** 消滅した里山文化のエコの豊かさは、科学のイノベーションや、経済の発展では補えません。里山文化の復活や復興には、里山の伝承農業の復活やそのブランド化など、暮らし営む人たちの自信と意欲なくては成り得ないのです。甦れ!日本の原風景をテーマに地域を主体としたNPOが里の会です。

### NPOプレントピアの森の事業

理念の普及と理念の実践とに渡って、新聞、ポスター、Webサイト、サインボードなど、さまざまなメディアを活用した意見広告の掲出、協賛企業各社主催の森づくりCSRイベントの企画・指導、技術者派遣や指導者養成の他、どんぐりの里親など話題性あるキャンペーン、どんぐりサミット・里山フェスタ等のイベント主催、フォレストイング指導や技術マニュアル等の出版・発行、および各社の区分管理による環境メセナの森計画、小堀谷の里構想等の事業があります。詳しくはホームページをご覧ください。



NPOプレントピアの森 <http://plenteer.com/> 本部事務局: 〒430-0907 浜松市中区高林5丁目11-6 TEL:(053)473-1510 FAX:(053)473-1511



私達の活動は、地域の企業や団体の協賛に支えられています。

ゆとりのくらしのパートナー

**遠州信用金庫**

<http://www.shinkin.co.jp/enshin>

for your smile ~あなたの笑顔にしたいくて~

**浜松信用金庫**

次世代につながる夢を

キャラクター **蔵の夢**

浜北区平口 TEL 586-9000

**株式会社アツミテック**

〒433-8118 静岡県浜松市中区高丘西四丁目6番1号 TEL (053)438-6711 <http://www.atsumitec.co.jp>

次世代へのお役立ち

天竜小堀谷有林 **E.S.S.の森**

**不二総合コンサルタント株式会社**

〒433-8112 浜松市北区初生町889-2 TEL 053-439-6111 <http://www.fujisougou.co.jp/>

**遠鉄システムサービス株式会社**

〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町12-1 11F TEL053-452-0708(代)

**株式会社リサイクルグリーン**

〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣41 TEL053-925-1366

**株式会社 エフ・シー・シー**

<http://www.fcc-net.co.jp/>

地下水保全意識の高揚のために

**西遠地域地下水利用対策協議会**

職人品質をもっと身近に。

**アキュラホーム**

株式会社アキュラホーム浜松支店 TEL: 053-459-0220 <http://hamamatsu.aqura.co.jp>

大切にします。お客様との絆 明るい笑顔と感謝の気持ち

**株式会社遠鉄トラベル**

<http://www.e-trip.co.jp/>

“自然”から学びつけよう!... 人も企業も、お役に立ててこそ愛せます。

**株式会社サカエ**

〒430-8691 浜松市中区野口336 TEL(053)461-4521 <http://www.sakae.jp.com>

ひとにやさしい食品を、自然に優しい物流で...

**AGグループ清風会**

<http://www.honor.co.jp> <http://www.agskk.jp>

環境にやさしい光で次代を拓く人材の育成

**光産業創成大学院大学**

浜松支店 / TEL053-465-1234 <http://www.chubugas.co.jp/>

Afforest Printing

静岡県浜松市南区大柳町851番地 TEL:053-443-7781 FAX:053-443-7780 印刷費の一部を植林活動に寄付しています

HOUSE TRAD

GOOD DECORATION IS A GOOD INVESTMENT

TRADE HOUSE, TRADE FURNITURE & TRADE LIFE Special Order!!

“明日”を探して今日お届けします。

**株式会社MAP**

TEL:053-473-5111 FAX:053-473-1511

ISO9001 ISO14001認証取得 産業廃棄物・一般廃棄物・資源回収・建物解体

天竜小堀谷有林 **リサイクルクリーンの森**

今あるものをより永く...

天竜小堀谷有林 **アイジーの森**

新しい価値を創造する...

**株式会社丸山コーポレーション**

本社 / 浜松工場 浜松市南区寺崎町710 TEL053-441-1937 <http://www.marco.co.jp/>

**株式会社アイジーコンサルティング**

IG CONSULTING <http://www.ig-consulting.co.jp>

もりちから **森力の再生**

さとちから **里力の復活**

静岡県西部森づくりCSR輪推進協議会

**N.P.O. 小堀谷の里の会**